ヘッドホンアンプ内蔵ワイヤレスステレオヘッドセット
ATH-BT05

取扱説明書

audio-technica

お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。
また、保証書と一緒にいつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。

安全上の注意

本製品は安全性に充分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために下記の内容を必ずお守りください。

⚠危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
⚠警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
⚠注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

本体について

⚠警告

- **病院などの医療機関、医療機器の近くでは本製品を使用しない**
  電波の影響によって機器の誤作動が発生し、事故の原因になります。
- **本製品を航空機内で使用しない**
  電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- **本製品を自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない**
  電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となる恐れがあります。
- **異常に気付いたら使用しない**
  異常な音、煙、臭いや発熱、損傷などがありましたら、（ACアダプター使用の際はすぐにコンセントから抜き）お買い上げの販売店か当社のサービスセンターに修理を依頼してください。
- **分解や改造はしない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **強い衝撃を与えない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **濡れた手で触れない**
  感電やけがの原因になります。
- **水をかけない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **本製品に異物（燃えやすい物、金属、液体など）を入れない**
  感電、故障や火災の原因になります。
- **布などでおおわない**
  過熱による火災やけがの原因になります。

リチウムポリマー電池（内蔵）について

⚠危険

- **電池の液が目に入ったときは目をこすらない**
  すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、医師の診察を受けてください。
- **電池の液が漏れたときは素手で液を触らない**
  ·液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、弊社サービスセンターまでご相談ください。
  ·万が一なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。
  ·皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。
- **火の中に入れない、加熱、分解、改造しない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない**
  発熱、破損、発火の原因になります。
- **落下させたり強い衝撃を与えない**
  液漏れ、発熱、破裂の原因になります。
- **以下の場所で使用、放置、保管しない**
  ·直射日光の当たる場所、高温多湿の場所
  ·炎天下の車内·ストーブなどの熱源の近く
  液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。
- **水に濡らさない**
  発熱、破裂、発火の原因になります。
- **付属の充電用USBケーブルおよび指定のUSB対応ACアダプター（別売）以外は使用しない**
  故障や火災の原因になります。

⚠注意

- **機器を使用したあとは必ずスイッチを切る**
  液漏れの多くは、スイッチの切り忘れによる電池の消耗が原因です。

■ **本製品を廃棄する場合　リサイクルのお願い**

Li-ion

内蔵充電池はリサイクルできます。
本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を下記宛先まで着払いにてお送りください。
なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますので予めご了承ください。
○送り先
〒915-0003 福井県越前市戸谷町87-1
株式会社テクニカフクイ　サービス課　宛
TEL：0778-25-6736

■ **内蔵充電池の交換のしかた**

本製品を充分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電池の寿命が考えられます。
内蔵充電池の交換は、お客様ご自身で行なわず、当社サービスセンターへご相談ください。

○サービスセンター　0120−887−416
携帯電話·PHSなどのご利用は　03−6746−0212

ヘッドホンについて

⚠警告

- 自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しないでください。
  交通事故の原因となります。
- 周囲の音が聞こえないと危険な場所（踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道など）では使用しないでください。
- 本製品は密閉度が高く、外部の音が聞こえにくくなります。
  周囲の音が聞こえる音量で、安全を確かめながらご使用ください。
- イヤピースは幼児の手の届かない場所に保管してください。

⚠注意

- 耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。
  大音量で長時間聞くと聴力に悪影響を与えることがあります。
- 肌に異常を感じた場合は、すぐにご使用を中止してください。
- 分解や改造はしないでください。
- 本製品を使用中に気分が悪くなった場合は、すぐにご使用を中止してください。
- ヘッドホンを耳から外したときは、必ずイヤピースが本体に付いているかご確認ください。
  イヤピースが耳の中に残り取り出せない場合は、すぐに医師の診察を受けてください。
- 本製品は耳をふさぐ形状のため、蒸れによりかゆみなどを感じることがあります。
  その場合は一旦ご使用を中止してください。

使用上の注意

- ご使用の際は、接続する機器の取扱説明書も必ずお読みください。
- 本製品を使用時に万一メモリーなどが消失しても、当社では一切の責任を負いません。
- 交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にピリピリと刺激を感じることがあります。
  これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるものでヘッドホンの故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
  また水がかからないようにしてください。

使用上の注意（つづき）

- 本製品は長い間使用すると、紫外線（特に直射日光）や摩擦により変色することがあります。
- 本製品をそのままバッグやポケットなどに入れるとコードが引っかかり、断線の原因になります。
- コードは必ずプラグを持って抜き差ししてください。コードを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- コードを本体に巻き付けないでください。断線の原因になります。
- 一度外したイヤピースをヘッドホンに付ける際は、確実に取り付けられているかを確認してください。
  脱落したイヤピースを耳の中に残ったままにすると、けがや病気の原因になります。
- 無音状態や再生中の曲間などに「サー」というノイズが聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

Bluetooth 機器について

本製品は2.4GHz帯の周波数帯域を使用します。この周波数帯域を使用する他の機器との電波干渉を避けるために、下記事項をお読みのうえご使用ください。

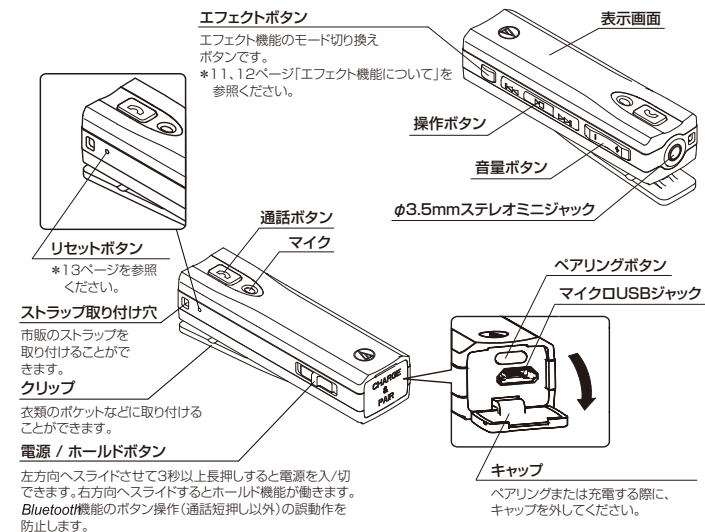
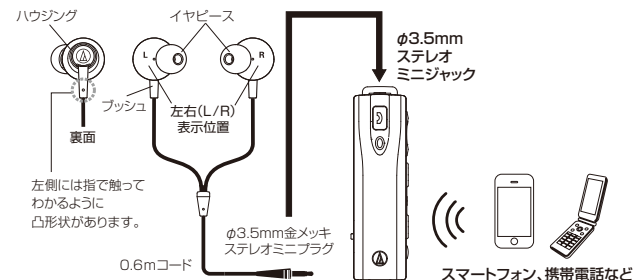
> 本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業·科学·医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許が必要）、特定小電力無線局（免許が不要）、およびアマチュア無線局（免許が必要）が運用されています。
> 1. ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、およびアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
> 2. 本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで当社相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための処置（例えばパーテーションの設置など）についてご相談ください。
> 3. そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合や、ご不明な点がございましたら、当社相談窓口までお問い合わせください。

- 本製品は、電波法に基づく小電力データー通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けております。
  無線局の免許は必要ありません。
- 以下の行為は、法律で禁じられています。
  - 分解や改造を行なう。
  - 本体に貼付の技術基準適合証明ラベル（〒マークを含むラベル）をはがす。
- 本体の表示について
  2.4FH1　この無線機は2.4GHz帯を使用し、変調方式としてFH−SS変調方式を採用し、与干渉距離は10m以内です。
- 使用可能範囲
  本製品は送信側 *Bluetooth* 機器から約10mの範囲でご使用いただけますが、本製品と送信側 *Bluetooth* 機器の間に障害物がある場合や建物の構造などによっては使用可能な距離が短くなる場合があります。
- ほかの機器との影響
  電子レンジ·デジタルコードレス電話·無線LANを使用する機器·*Bluetooth* など、本製品と同じ2.4GHz帯の電波を使用する機器の影響によって音声が途切れることがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性があるため、干渉しあう機器同士は離して設置してください。
- *Bluetooth* 通信時に情報の漏洩が発生しても、当社では一切の責任を負いません。

*Bluetooth*対応バージョンとプロファイル

本製品は下記の*Bluetooth*バージョンとプロファイルに対応しています。

■ 通信方式：*Bluetooth* 標準規格 Ver.2.1+EDR準拠
■ 対応 *Bluetooth*プロファイル：
- A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）：ステレオ音質のオーディオデータを送受信するためのプロファイル。
- AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）：再生、停止、スキップ、音量調整などAV機器を操作するためのプロファイル。
- HSP（Headset Profile）：通話/携帯電話の発着信をするためのプロファイル。
- HFP（Hands-Free Profile）：ハンズフリーで通話/携帯電話の発着信をするためのプロファイル。

各部の名称と接続のしかた

■ 接続のしかた

※本製品は付属のヘッドホン以外も使用できます。
ただし、スマートフォン用などの4極ミニプラグのヘッドホンには対応しておりません。

表示画面について

本製品を操作すると表示画面にアイコンなどが表示されます。
本製品の操作状況に応じて、着信電話番号、電池残量や日本語楽曲タイトルなどが表示されます。
通話ボタンを短押しすると表示画面に接続状況に応じてアイコンなどが表示されます。

【電池残量表示】

【接続時(待機時)】

どのプロファイルで接続しているかを表示します。
*接続時の表示は携帯電話によって異なる場合があります。

【ペアリングモード時】

【着信時】

RECEIVING

ご使用の携帯電話によっては発信者の番号や発信者名などを表示する場合があります。
非通知設定の場合は、表示されません。

【発信時】

CALL

【充電中】

残量バーがゆっくり点滅します。

【音量表示】

音量ボタンを操作すると表示します。0から14までの15段階で切り換えることができます。数字とレベルメーターにて現段階がわかります。

【A2DP接続時(楽曲操作時)】

接続機器がAVRCP1.3以上で、楽曲タイトル送信機能に対応している場合、日本語楽曲タイトルを表示します。
日本語楽曲タイトルは、3秒後に左へスクロールし消灯します。
タイトルが長い場合は、表示されない場合があります。

【通話中】

充電のしかた

本製品はリチウムポリマー充電池を内蔵しています。
ご使用になる場合は、必ず本体を充電してください。
*充電中は *Bluetooth* の接続が切れますので、本製品を使用することはできません。
*USB対応ACアダプター(別売)でも充電することができます。詳しくは15ページをご参照ください。

1.本製品のキャップを外し、マイクロUSBジャックに付属の充電用USBケーブルを接続します。
2.充電用USBケーブルをパソコンのUSBポートに正しく接続します。※1
3.充電が開始されると本体の表示画面に マークが点灯し、残量バーが点滅します。充電開始から約3時間で充電完了となります。※2
満充電時は、残量バーが全点灯します。
4.充電用USBケーブルを外します。自動的に電源がOFFになります。

※1 正しく接続されていない場合、本体の マークは点灯しません。
※2 空の充電池を充電完了にするための目安の時間です。
電池残量がある場合には、短い時間で充電完了になります。

【充電中の表示画面】

【満充電時の表示画面】

接続図

電池残量が少なくなった場合

警告音が鳴り、 マークが点滅します。
本体の電池が完全になくなると終了音が鳴り、電源が自動的に切れます。
マークが点滅しはじめたら、充電してください。

使用可能時間

連続通信(音楽再生時間を含む): 最大約8時間
連続待ち受け: 最大約200時間
*使用条件により異なります。

充電時間

約3時間
*使用条件により異なります。

- 本製品は以下の原因などにより、充電中に異常があると、充電が完了していなくても残量バーが全点灯することがあります。
  ・動作保証温度範囲(5℃~45℃)から外れる場合
  ・充電式電池に問題がある場合
  この場合、もう一度上記の温度範囲内で充電を行なってください。
  それでも充電されない場合は、当社のサービスセンターにご相談ください。
- 初めて充電を行なったとき、または長い間使用しないときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。
  何回か充放電を繰り返すと、通常どおり充電できるようになります。
- 使用可能時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、充電式電池の寿命と考えられます。
  充電式電池の交換については、お買い上げのお店、または当社のサービスセンターにご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、結露、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。
  また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。
- 本製品とパソコンを接続中に、パソコンが省電力モードになると正しく充電できません。
  接続を行なう前にパソコンの設定を確認してください。パソコンが省電力モードになると充電マークは自動的に消灯します。
  この場合は、充電をやり直してください。
- 接続の際は付属のUSBケーブルのみを使用し、直接接続してください。USBハブ、USB延長ケーブルは使用しないでください。USBケーブルはUSBポートの奥までプラグを持ってしっかり差し込んでください。

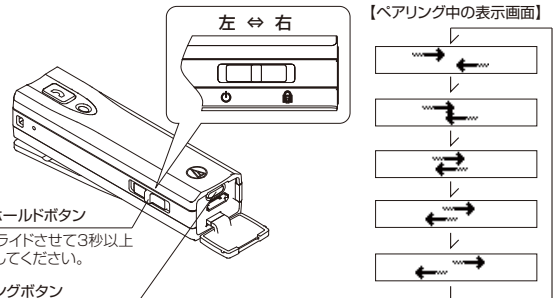
ヘッドホンを使用する

1. 本体のφ3.5mmステレオミニジャックに付属のヘッドホンを接続します。
2. 本製品の"L(左)"の表示側を左耳に、"R(右)"の表示側を右耳に装着し、イヤピースを調整します。

装着図

ペアリングを行なう

接続する機器をあらかじめ登録しておく手順です。
***Bluetooth* 機器では、接続する機器を最初にペアリングしておく必要があります。**
※接続する機器の取説説明書もあわせてお読みください。
※ヘッドホンを接続している場合は、ビープ音を確認することができます。

1. 相手側 *Bluetooth* 機器が、本製品の1m以内にあることを確認してください。
   本製品の電源が切れている状態で電源/ホールドボタンを左へスライドさせて、3秒以上長押ししてください。表示画面に audio-technica が表示され電源が入ります。
2. ペアリングボタンを3秒以上長押しし、ペアリングモードにします。
   表示画面にペアリングマークとヘッドホンから「ピーポポ」とビープ音が鳴り、ペアリングが開始できる状態になります.
   ※ペアリングには時間がかかる場合があります。

3. 相手側 *Bluetooth* 機器でペアリング操作を行ない、本製品を検索します。
   相手側 *Bluetooth* 機器の画面に、検出した機器の一覧が表示されます。
   本製品は「AT-PHA05BT」と画面に表示されます。
4. 相手側 *Bluetooth* 機器の画面に表示されている「AT-PHA05BT」を選択します。
   ※相手側 *Bluetooth* 機器の画面でパスコードを要求されたら「0000」と入力します。
   本製品の表示画面に *Bluetooth* のマークが表示されればペアリング完了です。

ペアリングを行なう (つづき)

表示画面

※複数のプロファイルを接続する場合は、2~4のペアリング手順を複数回繰り返す必要があります。
※一部機器によっては、自動で *Bluetooth* 接続を行ない、対応したプロファイルを読み込む機器があります。
詳しくは接続する機器の取扱説明書をご確認ください。
※5分以内にペアリング作業を完了しなかった場合、本製品のペアリングモードは解除されて、電源が切れます。この場合、もう一度最初からペアリングを行なってください。
※リセットボタン (→13ページ) を押してもペアリング情報は削除されません。

■ 一度ペアリングを行なっても、以下の場合は再度ペアリングが必要です。

- **9台以上の *Bluetooth* 機器をペアリングしたとき**
  (本製品は最大8台までペアリング登録できます。8台ペアリング登録したあとに、新たな機器のペアリング登録を行なうと、接続した日時がもっとも古い機器のペアリング情報が、新たな機器の情報で上書きされます。)
- **本製品のペアリング情報が消えてしまったとき**
- **相手側 *Bluetooth* 機器で本製品の接続履歴情報が削除されたとき**

■ *Bluetooth* 対応携帯電話の情報について

Bluetooth 対応携帯電話の適合リストについては、当社ホームページでご案内しています。
【PCサイト】http://www.audio-technica.co.jp/atj/support/
*TOPページ>一般製品>製品適合リスト
【モバイルサイト】www.audio-technica.co.jp/i/

音楽を聞く

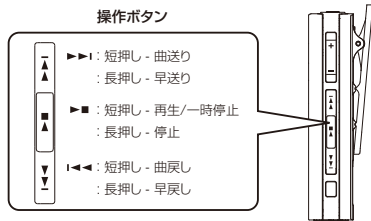
本製品は、*Bluetooth* 無線技術におけるコンテンツ保護方式の1つ、SCMS−T方式に対応しています。
SCMS−T方式対応の携帯電話やワンセグテレビなどの音楽（または音声）を聞くことができます。

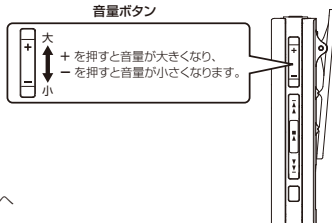
操作を行なう前に以下の内容をご確認ください。

- 送信側 *Bluetooth* 機器の電源が入っている。
- 本製品と送信側 *Bluetooth* 機器のペアリングが完了している。
- 送信側 *Bluetooth* 機器が音楽送信機能に対応している。（プロファイル：A2DP※）

※プロファイルについては3ページの「 *Bluetooth* 対応バージョンとプロファイル」を参照ください。

送信側 *Bluetooth* 機器を操作するには

送信側 *Bluetooth* 機器が機器操作機能
（ *Bluetooth*プロファイル：AVRCP）に
対応している場合は、本製品の操作ボタンで、
送信側 *Bluetooth* 機器の操作ができます。
＊送信側 *Bluetooth* 機器によっては、操作に
対応していない場合があります。

音量調整するには

音量ボタンの ＋ − でボリュームを調整します。
＋ で音量が大きくなり、− で小さくなります。
音量ボタンは長押しでも調整できます。
＊音量が最大 / 最小になると「ピピッ」と警告音が
鳴ります。それ以上は大きく / 小さくなりません。
また、音量を最小にしても消音にはなりません。

■ご使用後
送信側 *Bluetooth* 機器を操作して、
Bluetooth 接続を切断します。
音楽を聞き終えたら、本製品の電源/ホールドボタンを左へ
スライドさせて3秒以上長押しし、電源を切ります。
終了音が鳴り、電源が切れます。

【音量 ＋ ボタンを押したときの表示画面】

【音量 − ボタンを押したときの表示画面】

通話する

Bluetooth 機能搭載の携帯電話で通話を行なうには、以下の内容をご確認ください。

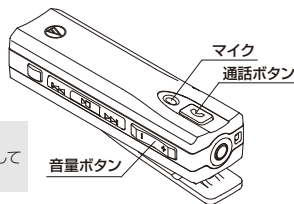
- 携帯電話の *Bluetooth* 機能が有効になっていること。
- 本製品と *Bluetooth* 対応携帯電話のペアリングがHSPかHFPで完了していること。

1. 本製品の電源が切れている状態で電源/ホールドボタンを左にスライドさせて、
3秒以上長押ししてください。起動音が鳴り、表示画面に
audio-technica が表示され電源が入ります。
2. *Bluetooth* 対応携帯電話の取扱説明書をご参照のうえ、*Bluetooth* 接続操作
を行なってください。
Bluetooth 対応携帯電話の画面のリストの中に「AT-PHA05BT」と表示されます。
HFPとHSPの両方に対応した *Bluetooth* 対応携帯電話をご使用の場合は、HFPで接続してください。
※プロファイルについては、*Bluetooth* 対応バージョンとプロファイル（→3ページ）を参照ください。

左 ⇔ 右

■ **電話を受ける**
着信があると、ヘッドホンから着信音が聞こえます。
着信時は表示画面に、<1> が表示されます*。
通話ボタンを約1秒短押しして、電話を受けます。
通話中は、<2> のマークが表示されます。
※携帯電話によっては発信者の番号や発信者名などを
表示する場合があります。

- 通話ボタンを2秒以上長押しすると着信拒否します。
- 受話音量を調整するには、音量ボタンの+または−を押して
音量を調整します。

マイク
通話ボタン
音量ボタン

■ **電話をかける**
ご使用の携帯電話を操作して電話をかけてください。
本製品から発信音が聞こえない場合は、通話ボタンを
2秒以上長押ししてください。音声が切り換わります。
発信時は表示画面に、<3> が表示されます。

■ **電話をリダイヤルする**
ご使用の携帯電話の待機中に、通話ボタンを
2秒以上長押しし、リダイヤルします。
最後にかけた電話番号に発信します。
発信時は表示画面に、<3> が表示されます。
※ご使用の携帯電話によっては対応していないもの
もあります。

<1> 着信中表示画面
RECEIVING

<2> 通話中表示画面

<3> 発信中表示画面
CALL

■ **電話を切る**
本製品の通話ボタンを約1秒短押しして、通話を終了します。

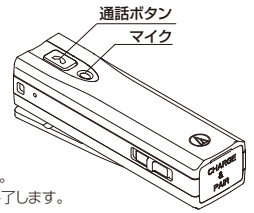
■ **ご使用後**
送信側 *Bluetooth* 機器を操作して、*Bluetooth* 接続を切断します。
使い終わったら本製品の電源/ホールドボタンを左へ
スライドさせて3秒以上長押しし、電源を切ります。

音楽再生中に通話する

音楽再生中に通話をするには、A2DPだけではなく、HFPまたはHSPでの *Bluetooth* 接続も必要です。
「通話する」（10ページ）の手順に従って、お持ちの携帯電話をHFPまたはHSPで
Bluetooth 接続してください。
※詳しくはお持ちの携帯電話の取扱説明書を参照ください。
Bluetooth 対応の携帯電話を操作して、A2DPで本製品と *Bluetooth* 接続し、音楽を再生します。

音楽再生中に電話を受ける

着信があると音楽が一時停止します。
着信時は表示画面に、<1> が表示されます。
同時に着信音が聞こえます。
※携帯電話によっては発信者の番号や発信者名などを
表示する場合があります。

1. 着信中に本製品の通話ボタンを約1秒短押しして、通話を受けます。
2. 電話を切るには、本製品の通話ボタンを約1秒短押しして、通話を終了します。
本製品が音楽再生に戻ります。

音楽再生中に電話をリダイヤルする

音楽再生中に通話ボタンを2秒以上長押しし、
リダイヤルします。
発信時は表示画面に、<2> が表示されます。
音楽が一時停止し、最後にかけた電話番号に発信します。

<1> 着信中表示画面

<2> 発信中表示画面

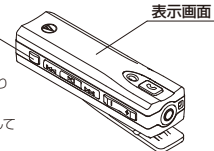
エフェクト機能について

エフェクトボタンでエフェクトモードを切り換えることができます。
エフェクト機能は、SRS Labs, Incが開発したSRS WOW HD™ を採用しています。
※出荷時はエフェクトモードがOFFにセットされています。

この技術は、オーディオの再生音質を著しく改善し、深く豊かな低音再生、
高域の音の抜けの良さと共に迫力のある立体音場を体験していただけます。
SRS は、SRS Labs. Inc. の商標です。
WOW HD技術は、SRS Labs Inc. からのライセンスに基づき製品化されています。

エフェクト機能を切り換えるには

音楽再生中にエフェクトボタンを短押しすると、ビープ音が「ピッ」と鳴ります。エフェクトモードが切り換わり、
表示画面にエフェクトモード名が表示され1秒後にスクロールして消えます。
MUSIC<DYNAMIC>⇒MUSIC<BASS BOOST>⇒MOVIE⇒GAME⇒OFFの順に表示を繰り
返します。お好みのモードをセレクトしてください。

エフェクトボタン
音楽再生中に短押しすると、
エフェクト機能が動作します。
※音楽ソースによっては、エフェクトにより
音が歪む場合があります。
その場合は、エフェクト機能をOFFにして
ご使用ください。

エフェクト機能について（つづき）

エフェクトモードは「MUSIC <DYNAMIC>」、「MUSIC <BASS BOOST>」、
「MOVIE」、「GAME」の4つがあります。

- MUSIC <DYNAMIC>：奥行き感のあるボーカルと音の明瞭感を引き立てます。
- MUSIC <BASS BOOST>：バランスのとれた豊かな低域再生を実現します。
- MOVIE：音の広がり感を得やすく動画再生などに最適です。
- GAME：奥行きのある立体的な音場でゲームをするときに最適です。
- OFF：ヘッドホンアンプのみの再生音です。

※電源をOFFにし再接続した場合でも、前回選択したエフェクトモードになります。

お手入れのしかた

長くご使用いただくために各部のお手入れをお願いいたします。
お手入れの際は、アルコール、シンナーなど溶剤類は使用しないでください。

- **本体について**……乾いた布で本体の汚れを拭いてください。
表示画面は傷付きやすいので、強くこすらないでください。
- **ヘッドホンについて**……乾いた布で本体の汚れを拭いてください。
特にイヤピース接触面（右図参照）は、イヤピースを通して
皮脂などの汚れが付着します。汚れが付着したまま使用
すると、イヤピースが外れやすくなります。こまめに
汚れを拭いてください。
なお、音が出る部分は繊細なため、触らないようにして
ください。故障の原因になります。
- **コードについて**……汗などで汚れた場合は、使用後すぐに乾いた布で拭い
てください。汚れたまま使用すると、コードが劣化して
固くなり、故障の原因になります。
- **プラグについて**……プラグが汚れた場合は、乾いた布で拭いてください。
プラグが汚れたまま使用すると、音とびや雑音が入る場合があります。

＊イヤピースのお手入れは、「イヤピースについて」→「お手入れのしかた」を参照ください。

イヤピースについて

■ イヤピースのサイズ／種類について

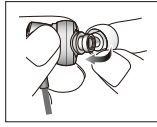
本製品は、4サイズのシリコンイヤピースXS、S、M、Lを付属しており、お買い上げ時は
Mサイズが装着されています。
よりよい音質で楽しんでいただくために、イヤピースのサイズを換えて、イヤピースを耳の収まりのよい位置に
調節してください。イヤピースが耳にうまく装着されていないと低音が聞こえにくいことがあります。

■ お手入れのしかた

ヘッドホンからイヤピースを外し、うすめた中性洗剤で手洗いしてください。
洗浄後は乾いてからご使用ください。

イヤピースについて（つづき）

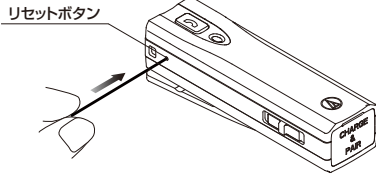
■ **交換のしかた**

イヤピースを外し、新しいイヤピースを斜めから押し当てます。（図参照）
内側を広げるように強く押し込み、奥までしっかり取り付けてください。
※イヤピースが外れにくい設計にしているため、取り付けがきつくなっています。

⚠注意

- イヤピースは汚れが付きやすいため、定期的に取り外しお手入れをしてください。
  汚れが付いたまま使用すると、イヤピースを通して本体の音が出る部分が汚れ、音質が悪くなる恐れがあります。
- イヤピースは消耗品のため、保存や使用により劣化します。嵌合がゆるくなるなどの劣化が見られた場合は交換イヤピースを販売店でお買い求めください。
- 一度外したイヤピースを本体に付ける際は、確実に取り付けられているかを確認してください。
  イヤピースが耳の中に残ったまま放置すると、けがや病気の原因になります。

リセット機能について

万一、本製品の操作ができなくなってしまった場合には、これを解除するためのリセットボタンを設けています。下記手順に従って、本製品をリセットしてください。

右図のように細い棒などをリセット穴に差し込み、リセットボタンの感触がある まで押してください。リセットボタンが押されると電源が切れます。

※この操作をしてもペアリング情報は削除されません。

故障かな?と思ったら

Q1. 電源が入らない

A1. 電池残量はありますか? → 充電してください。

Q2. ペアリングができない／完了しない

A1. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器が離れていませんか?
→ 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器を1m以内に近付けて再度ペアリングをしてください。
A2. 相手側 *Bluetooth* 機器は適合機種ですか? → 適合を確認してください。
A3. プロファイルの設定は完了していますか?
→ 相手側 *Bluetooth* 対応機器の取扱説明書を確認し、プロファイルの設定を完了させてください。

Q3. *Bluetooth*接続ができない

A1. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器の電源が入っていますか? → 電源を入れてください。
A2. 相手側 *Bluetooth* 機器の *Bluetooth* 機能は有効になっていますか? → *Bluetooth* 機能を有効にしてください。

Q4. 音が出ない(音楽再生時)

A1. ヘッドホンのプラグはきちんと奥まで差し込まれていますか? → プラグを奥まで差し込んでください。
A2. 本製品や相手側 *Bluetooth* 機器の電源が入っていますか? → 電源を入れてください。
A3. 本製品と相手側 *Bluetooth* 機器がA2DPで接続されていますか? → A2DP接続してください。
A4. 相手側 *Bluetooth* 機器が再生されていますか? → 再生してください。
A5. 本製品の音量が小さくありませんか? また接続した機器側の音量が小さくありませんか?
→ 音量を調整してください。

故障かな?と思ったら（つづき）

Q5. 音が歪む、途切れる(音楽再生時)

A1. 本製品や相手側 *Bluetooth* 機器の近くに2.4GHz帯の周波数を使用する電子レンジや無線などの機器はありませんか? → それらの機器と離して使用してください。
A2. エフェクト機能がONになっていませんか? → 再生ソースによっては、エフェクトにより音が歪む場合があります。その場合は、エフェクト機能をOFFにしてください。
A3. 相手側 *Bluetooth* 機器で複数のアプリケーションが起動していませんか? → 一部の携帯電話などでは複数のアプリケーションが起動していると、音楽や音声が途切れる場合があります。
A4. 相手側 *Bluetooth* 機器と離れて使用していませんか?
→ 相手側 *Bluetooth* 機器を近付けて、電波の届く範囲で使用してください。
A5. 相手側 *Bluetooth* 機器は適合機種ですか? → 適合を確認してください。
A6. スマートフォン用など4極ミニプラグのヘッドホンが接続されていませんか?
→ 本製品は4極ミニプラグには対応しておりません。

Q6. 音質が悪い(音楽再生時)

A1. 本製品や相手側 *Bluetooth* 機器が、HFP/HSPの *Bluetooth* 接続になっていませんか?
→ *Bluetooth* 接続をA2DPに切り換えてください。

Q7. 通話相手の声が聞こえない（通話時）

A1. ヘッドホンのプラグはきちんと奥まで差し込まれていますか? → プラグを奥まで差し込んでください。
A2. 本製品や相手側 *Bluetooth* 対応携帯電話の電源が入っていますか? → 電源を入れてください。
A3. 本製品を相手側 *Bluetooth* 機器がHFPまたはHSPで接続されていますか?
→ HFPまたはHSPで *Bluetooth* 接続してください。
A4. 相手側 *Bluetooth* 携帯電話の音楽設定が、通話中に本製品を使用する設定になっていますか?
→ *Bluetooth* 携帯電話の音声設定で、本製品を使用できるように設定してください。
A5. 本製品の音量が小さくありませんか? → 音量を調整してください。
A6. 接続した携帯電話の音量は小さくありませんか? → 音量を調整してください。
A7. スマートフォン用など4極ミニプラグのヘッドホンが接続されていませんか?
→ 本製品は4極ミニプラグには対応しておりません。

Q8. 通信距離が短い（通話時）

A1. 本製品や相手側 *Bluetooth* 機器の近くに2.4GHz帯の周波数を使用している電子レンジや無線などの機器はありませんか? → それらの機器と離して使用してください。
A2. 本製品を相手側 *Bluetooth* 機器に近付けてご使用ください。

Q9. 本体表示画面に電話番号や楽曲タイトルが表示されない

A1. 携帯電話によって表示内容が異なります。着信時に発信者名をヘッドセットに送信する機能を持った *Bluetooth* 対応携帯電話でも非通知設定の場合は、電話番号や発信者名の表示がされません。
A2. 接続機器がAVRCP1.3以上でも楽曲タイトル送信機能に対応していない場合、日本語楽曲が表示されません。

Q10. 充電できない

A1. 本製品とパソコンに充電用ケーブルがしっかり接続されていますか?
→ しっかり奥までまっすぐ差し込んでください。
A2. パソコンの電源が入っていますか? → パソコンの電源を入れてください。
A3. パソコンがスリープ状態に入っていませんか? → パソコンの電源設定をご確認ください。
A4. 別売のUSB対応ACアダプターをご使用の場合は、正しく接続されていますか?
→ 接続をご確認ください。

充電のしかた（別売のUSB対応ACアダプターを使用する）

パソコンで充電する（→6ページ）以外にも、USB対応ACアダプターAD−SU505JEA（別売）を使用して充電することができます。

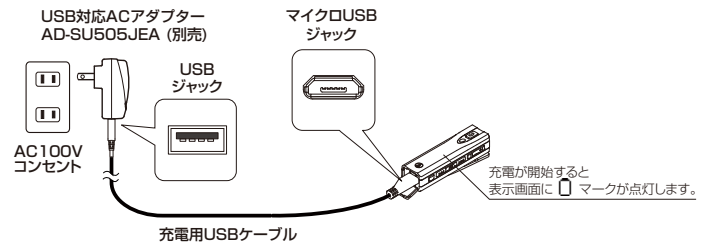
＊充電中は *Bluetooth* の接続が切れますので、本製品を使用することはできません。

1. 本製品のマイクロUSBジャックに付属の充電用USBケーブルを接続します。
2. 充電用USBケーブルを充電アダプターのUSBジャックに接続します※1。
3. AC100VコンセントにUSB対応ACアダプターを接続してください。
4. 充電が開始されると本体の表示画面に▯マークが点灯し、残量バーが点滅します。充電開始から約3時間で充電完了となります※2。
   満充電時は、残量バーが全点灯します。
5. 充電用USBケーブルを外します。自動的に電源がOFFになります。

【充電中の表示画面】

【満充電時の表示画面】

※1 正しく接続されていない場合、本体の▯マークは点灯しません。
※2 空の充電池を充電完了にするための目安の時間です。
電池残量がある場合には、短い時間で充電完了になります。

接続図

電池残量が少なくなった場合

警告音が鳴り、▯マークが点滅します。
本体の電池が完全になくなると終了音が鳴り、電源が自動的に切れます。
▯マークが点滅しはじめたら、充電してください。

充電時間

約3時間
＊使用条件により異なります。

- 本製品は以下の原因などにより、充電中に異常があると、充電が完了していなくても残量バーが全点灯することがあります。
  ・動作保証温度範囲（5℃〜45℃）から外れる場合
  ・充電式電池に問題がある場合
  この場合、もう一度上記の温度範囲内で充電を行なってください。
  それでも充電されない場合は、当社のサービスセンターにご相談ください。
- 初めて充電を行なったとき、または長い間使用しないときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。
  何回か充放電を繰り返すと、通常どおり充電できるようになります。
- 使用可能時間が通常の半分ぐらいに低下した場合は、充電式電池の寿命と考えられます。
  充電式電池の交換については、お買い上げ店または当社のサービスセンターにご相談ください。
- 急激な温度変化や、直射日光、結露、砂、ほこりや電気的な衝撃を避けてください。
  また駐車中の車内には、絶対に放置しないでください。

テクニカルデータ

● **ヘッドホン部（ATH-CKM500S）**

型式	：ダイナミック型
ドライバー	：φ12.5mm
出力音圧レベル	：105dB/mW
再生周波数帯域	：5〜25,000Hz
最大入力	：200mW
インピーダンス	：16Ω
プラグ	：φ3.5mm金メッキステレオミニプラグ
コード長	：0.6m（Y型※）※左右のコードの長さが同じです。

● **本体部（AT-PHA05BT）**

マイク型式	：エレクトレットコンデンサー型
マイク指向性	：無指向性
マイク感度	：-40dB（1V/Pa,at1kHz）
マイク周波数帯域	：10〜4,000Hz
最大出力レベル	：30mW+30mW（16Ω、T.H.D1%）
出力端子	：φ3.5mmステレオミニジャック
電源	：DC3.7V リチウムポリマー充電池（内蔵式）
外形寸法（クリップ除く）	：W20 × H70 × D15mm
使用温度範囲	：5℃〜45℃
表示部	：有機EL（単色）
連続通信時間	：最大約8時間（音楽再生時間を含む）※使用条件により異なります。
連続待ち受け時間	：最大約200時間※使用条件により異なります。
充電時間	：約3時間※使用条件により異なります。

● **通信仕様**

通信方式	：*Bluetooth* 標準規格　Ver.2.1+EDR準拠
出力	：*Bluetooth* 標準規格　Power Class2
最大通信距離	：見通しの良い状態で10m以内
使用周波数帯域	：2.4GHz帯（2.402GHz〜2.480GHz）
変調方式	：FHSS
対応 *Bluetooth* プロファイル	：A2DP、AVRCP、HFP、HSP
対応コーデック	：SBC
対応コンテンツ保護	：SCMS-T方式
伝送帯域	：20〜20,000Hz（44.1kHzサンプリング時）

● **質量**　：本体:約21g、ヘッドホン部:約7.4g（コード除く）

● **付属品**
充電用USBケーブル（1.0m）、イヤピース（XS,S,M,L）

● **別売**
USB対応ACアダプター：AD-SU505JEA
交換イヤピース：ER-CKM55XS,S,M,L

（改良などのため予告なく変更することがあります。）

アフターサービスについて
本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

株式会社オーディオテクニカ
〒194-8666　東京都町田市成瀬2206
http://www.audio-technica.co.jp

132310670

お問い合わせ先（電話受付／平日9：00〜17：30）
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、販売店または当社お客様相談窓口およびホームページのサポートまでお願いします。

- **お客様相談窓口（製品の仕様・使いかた）** 0120-773-417
  （携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0211）
  FAX：042-739-9120　Eメール：support@audio-technica.co.jp
- **サービスセンター（修理・部品）** 0120-887-416
  （携帯電話・PHSなどのご利用は　03-6746-0212）
  FAX：042-739-9120　Eメール：servicecenter@audio-technica.co.jp
- **ホームページ（サポート）**
  www.audio-technica.co.jp/atj/support/